

青井 一美



(1月23日、会社設立以来、トヨタ自動車の総合表彰を10年連続受賞したトヨタビスタ兵庫の社長)

「自動車販売業の不合理、非効率を解消するには、高効率、高収益、適正料金・サービス、顧客の信頼のサークルを好循環させるし

か道はない。その具体策は店頭販売と通院型サービスに徹することだ。経営には常に人、物、金をどう高回転するかが課題だが、今後も要請されているのは、売掛金を減らす、在庫を適正化する、人の回転をいかに進めるかだ。端的に言えば、自動車販売業界もメーカーの手法、効率に近づけること」

ダイエーの海外進出第1号店、ハワイパールリッジの総支配人に昭和47年就任。ダイエーが店舗の全国展開を進める中で、福岡天神店、尼崎店、大阪の香里店、東京の赤羽店の初代店長を勤め、小売業にとってお客にいか

(敬称略・役職などは原則として90年末現在)

設立時に代表取締役役に就任。自動車販売業界で、初の店頭販売、通院型サービスを二本柱にして、自動車販売業の革新に取り組む。ここ数年、生産性の高さを研究しに全国のディーラーの幹部が訪れている。

〔趣味〕=魚釣・麻雀
〔略歴〕=1954年4月大阪府立大学農学部卒、63年4月ダイエー入社、72年ハワイパールリッジ店総支配人、以後全国の店の初代店長を経て、東京地区長、東京運営本部次長、トヨタビスタ兵庫社長。大阪出身、1932年1月生。
☎078-641-1777

天野 平八郎



(90年の年間販売で、東北初の年販1万台を達成した仙台トヨペット社長)

年販1万台の“目”が出て来たのは「8月の夏季休暇が終わった頃」。横浜トヨペットなどと同じ時期に創立、かつて一時代を画した会社だけに、「社員に過去の栄光を思い出してもらい、活性化すると同時に、自ら“売

りやすい”環境づくり」を進めるエポック・メイキングに年販1万台を位置づけ、市場が沈静化傾向に入った12月販売は前年同月の30%増を超える目標に挑戦、10,021台(経理ベース)の年販新記録を達成した。

東京トヨペット在籍時代は第一線の営業マン。入社3年目から4年連続、トヨタ自販(当時)の優秀営業マン表彰を受けた。マネージャーから同自販の研修センターへインストラクターで出向。人柄と力量を買われ、出向時にさかのぼって転籍。この経験で「営業第一線(社員)の心がわかるし、経験したことをインストラクター時代に、体系的に整理できた。担当員時代をも通して大、中、小市場のモノサシの違いと当て方をつかんだ」。今、

ディーラー経営に役立っている。
〔趣味〕=読書・ゴルフ
〔略歴〕=1959年3月千葉大学文理学部卒、同年4月東京トヨペット入社。70年トヨタ自動車販売入社、第2車両部地区担当員、ビスタ店のセットアップ、同担当員をなどを

経て83年から4年間山形トヨペットに出向、再建を果たす。87年6月復帰、車両第5部部长。地区担当員当時から親交の深かった亀井文蔵社長(現会長)に請われて89年2月、同社社長に就任。愛知県出身、1935年5月生。
☎022-232-1111

生嶋 幸子



(全国ダイハツ系ディーラーの女子営業で、トップクラスの実績を誇る奈良ダイハツのセールスウーマン)

「営業は瞬発力よりも持久力だと思います。一日一日を楽しく、仕事に追われるのではなく“仕事を追うこと”。あまり必死になり過ぎずに冷静な対応を心掛けています」

大阪の女子短大を卒業後、4年前に奈良ダイハツへ入社。本社営業所・乗用車チームに籍を置き、1年目は実質4ヵ月で14台の新車を販売、2年目が62台、3年目が84台、そして4年目にあたる90年が66台と毎年着実に実績を残し、入社以来の累計販売台数は226台に達している。

その“実力”を見込まれて、日本能率協会主催の「女性セールスの戦力化」と題した講演会に、一般企業で成功した女性セールスに交じって講師を。各企業の人事担当者を前に、堂々と女性の活用について事例を発表した。

仕事だけでなく、プライベートについても「マイペースで自分らしさを大切に」をモツ

トーとする。同社でも「センスや勘が良く、度胸満点。行動力と責任感がうまくかみ合っている」と、抜群の評価だ。

「自分自身よくやっているなあ」と苦笑いする彼女は、この4月からトレーナーとして、女子はもちろん男子営業マンを指導する立場に。その手腕に期待がかかる。

〔趣味〕=師範の腕前をもつ華道・旅行・テニス
〔略歴〕=大谷女子短期大学・家政科卒業
1967年2月奈良県生
☎0742-62-0771

石原 俊



(9月7日、英国王室から「大英勲章」を授与される)

日英経済関係への貢献が評価され、英国王室が外国人に授与する最高の勲章である「大英勲章」を受章した。略称、K・B・E (Honorary Knight Commander of the Most Excellent Order of the British

Empire) は生存者称号のため英国法で763人に限定されている。

日産自動車は84年4月、北東イングランドのタイン・アンド・ウェア州サンダーランドに、英国日産自動車製造を設立、86年7月からブルーバード(日本ではオースター)の生産を開始している。

当時、日産では石原俊社長率いる経営陣と労働組合との確執が激しく、組合では海外進出についても反対の立場であった。しかし、石原社長は100年の計として、英国進出を断行、やはり、当時のサッチャー首相が熱烈歓迎した。

国際社会での立場が問われている日本の自動車産業界だが、進出先で良き市民になりき

ろうとする、現在の在り方に先鞭をつけた事業の一つであった。

その後、現在に至る展開や、今後の計画も含め、日産の英国での事業拡大は英国経済に大きく貢献、今回の大英勲章授与となった。

〔趣味〕=トロリング・クルージング・ゴルフ
〔略歴〕1937年東北大学法学部卒、同年11月日産自動車入社、54年取締役、63年常務、69年専務、73年副社長、77年社長、85年会長。80年日本自動車工業会会長、85年経済同友会代表幹事、87年日本自動車会議所会長
☎03-3543-5523